



2023年10月1日発行  
1947年10月27日  
第3種郵便物認可  
発行所/日本YMCA同盟  
東京都新宿区本郷町2-11  
THE YMCA神戸版  
神戸YMCA  
〒650-0001  
神戸市中央区加納町2-7-11  
Tel 078-241-7201  
Fax 078-241-7479  
www.kobeymca.org  
発行人/井上真二  
編集/本部事務局  
印刷/南わかばやし印刷

# YMCA News



年間聖句

「平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。」  
ローマの信徒への手紙14章19節より



たかつき なぎさ  
国際委員 高月 渚さん



ラオスワークキャンプの訪問地(バクムード村)の女性

「国際協力募金」という言葉を聞いて、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。神戸YMCAが行っている国際協力募金は、世界で発生している紛争や災害による避難者への支援、定住外国人の子どもや神戸YMCA学院専門学校の留学生に対する奨学金給付など、困難な状況に置かれている日本および世界の人々を、さまざまな側面から支援しています。昨今では、ロシアによるウクライナ侵攻や今年2月に発生したトルコ・シリア地震などの状況を耳にすることがあるかと思います。皆さまから寄せられた寄附金は、そのような紛争・災害の影響により緊急的に援助が必要な人々の支援にも使われています。加えて、いまだ故郷に戻ることが難しい状況に置かれているパレスチナ難民や、東南アジアの農村地域や子どもたちに対しても、YMCAは継続的に支援を行っています。

## YMCA国際協力募金 世界のために、明るい未来のために

国際協力募金は前述のように、世界の人々に届けられることもありますが、日本のユース育成や開発、国際理解教育に関する各種活動にも用いられています。私は2018年に開催された「ラオスワークキャンプ」に参加し、日本、ラオス、タイのユースとともに、ラオス北部の村においてコミュニティセンター建設を行いました。言語の壁もあり、他国のユースや村の人々とのコミュニケーションは試行錯誤の連続でしたが、彼らはいつも私たちを温かく優しく迎え入れてくれ、本当の家族のように接してくれました。「人とつながる」という素晴らしいを学んだラオスワークキャンプは、今でも私にとってかけがえない経験であり、人生の原点にもなっています。

YMCAの国際協力募金は、さまざまな課題によって苦しむ世界の人々に対し支援を届け、また、日本のユースや子どもたちに対してさまざまな体験を提供することで、未来を創っていく一助を担っていると考えています。ぜひ、皆さまも国際協力募金に参加してみてください。



ラオスワークキャンプの訪問地(バクムード村)の子どもたち

### 2023年度 新入職員聖書・讃美歌贈呈



7月の職員礼拝で、この4月から神戸栄光教会に赴任された佐藤成美牧師の奨励がありました。その後、礼拝に出席した新入職員10名に聖書と讃美歌の贈呈を行いました。

佐藤牧師は関西学院大学文学部美学科卒業後、就職。その後献身し、同神学部編入学。神学部大学院を卒業後、伝道師として高槻教会に赴任し、2011年に甲子園教会に転任されました。

### 全国YMCA専門学校担当者会



東京、広島、和歌山、仙台、横浜、広島、熊本から担当者が集まり、7月13日(木)、14日(金)の2日間にわたって三宮会館で行われました。神戸からは5名の職員が出席しました。主な議題は「高校の進路指導の現状と私達の課題」、「発達障がいのある生徒の現状」、「YMCAの日本語学校の現状」で、活発な意見交換と情報共有が行われました。





## 世界YMCA/YWCA合同祈禱週

ミッション委員会



世界YMCAと世界YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、共に祈りを守っています。この1週間は、YMCA/YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認するための期間です。

この期間に合わせて、神戸YWCAのチャペルで神戸YMCA/YWCAの合同礼拝を行っており、昨年は、神戸YWCA学院の日本語クラスで約3年間学ばれ、西宮南福音ルーテル教会で協力宣教師をされているネヴダル・クリストファーさんに奨励をしていただきました。

今年の世界YMCA/YWCA合同祈禱週は、11月12日(日)～18日(土)です。今年も11月14日(火)9:00～10:00に神戸YWCAのチャペルで合同礼拝を行いますので、ぜひご参加ください。

2023年度テーマ: Seeds to Blossoms: Cultivating Hope and Love in Solidarity

仮訳「種から花へ～手を取り合って、希望と愛を育てましょう」

## YMCAつどいの場

## ウエルネスセンター学園都市

ウエルネスセンター学園都市では、神戸市つどいの場支援事業として「YMCAつどいの場」を7月から月に2回開催しています。学園都市あんしんすこやかセンター、神戸市西区社会福祉協議会のご協力を頂き、地域の高齢者に必要な運動機会創出の取り組みと、認知症予防や孤独死防止、毎日をいきいきと楽しむために人と人がつながるコミュニケーションの場を提供しています。

全体で90分のプログラムで、毎回さまざまな測定にチャレンジしていただきます。口コモ度チェックで今のご自身の状態を知り、音楽に合わせて脳トレや筋トレを楽しんだあとは、茶話会で大好きなおしゃべりタイムです。ウエルネスセンターでのトレーニングが年齢的に難しいと判断し退会されたメンバーのその後の居場所となることや、元気な方が運動機会を求めて通ううち、運動意欲が高まり入会されることも期待しています。地域に求められる「つどいの場」の形を模索しながら進化を続け、学園都市地域での社会課題解決に寄与していくことを目指しています。



## ホテル学科 夏期企業実習

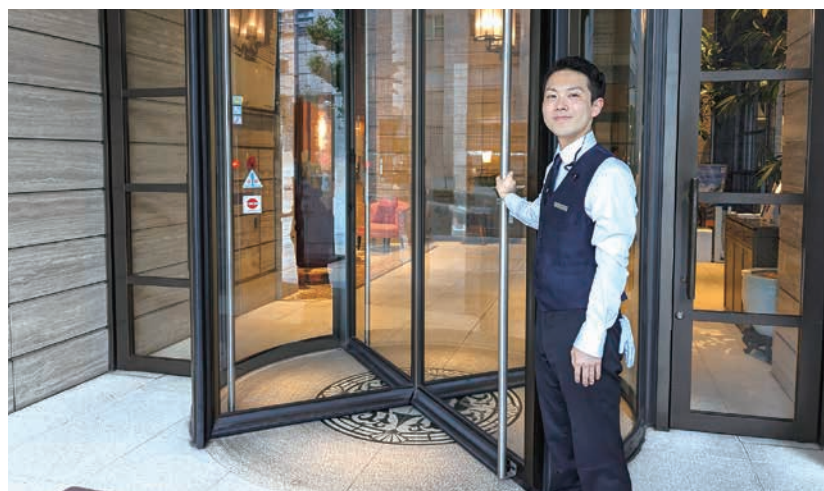
## 専門学校ホテル学科

ホテル学科は2年間を通して計3回の企業実習があります。期間はひとつの実習につき1ヶ月半です。知識や技術の向上、企業研究、お客さまやスタッフとのコミュニケーションの取り方などを学ぶことを目的としており、実際の現場に立って接客をすることで、学んできたことを実践でき、それが自信へと繋がります。

1年生は初めてのホテル実習でリゾートホテルへ。2年生は自身の希望する企業や職種を選択するため、ホテル以外でサービス実習をする学生もいました。

今夏は昨年度以上に旅行者も多く、とても賑わった夏となりました。たくさんの笑顔をお客さまにお届けしたことでしょう。また、お客さまからたくさんの「ありがとう」を受け取った実習となったはず。実習先で聞く学生からの「楽しい！」という言葉が印象に残っています。

それぞれに目標を持ち、最後までやり遂げました。この経験が将来に活かされることを願っています。



## 灯台

Light House

## No.39

総主事 井上 真二



## スポーツの日

1964年に開催された東京オリンピック。開会式が行われた10月10日は「体育の日」と定められ、国民の祝日になりました。その後、2000年から移動祝日になり、2020年に名称が「スポーツの日」に変更されました。体育の日の「スポーツにたししみ、健康な心身をつちかう」から、スポーツの日の「スポーツを楽しみ、他者を尊重する精神を培うとともに、健康で活力ある社会の実現を願う」に改められたことは、スポーツは競技として行うものだけではなく、伝統的な武道や球技からニュースポーツ、そして健康維持のための運動等も含め、体育や身体活動の概念を広義的にとらえていると言

えるでしょう。

スポーツの語源はラテン語の「deportare(デポルターレ)」で、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶなどの意味があるとされています。スポーツはいろいろな形で、誰もが気軽に楽しめるものであり、ほんのちょっとした運動によって生活の質が向上することもわかっています。神戸市の高齢者施設の「『支える人』になるプロジェクト」の取り組みがテレビで放映されていました。入所者とスタッフが日本プロサッカーリーグJ1、ヴィッセル神戸のユニフォームを着てテレビの前に集まり、一丸となって声援を送り、点が入れば共に喜び、取られれば更に応援する光景は、スタジアムにいるかのようなものでした。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋... 秋にもいろいろありますが、自分にとってのウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良い状態であること)を考えてみたいと思います。



## R E P O R T

## 西神戸YMCA幼稚園

## 年長児余島キャンプ

8月26日(土)～28日(月)に、幼稚園の年長児は余島キャンプ場へ行ってきました。コロナの影響により実施できない年が続きましたが、4年ぶりの実施となり、みんなが待ちに待ったキャンプでした。期待やうれしさの半面、ひさびさのキャンプで、かなり緊張感を持って準備を進めてきたのも正直なところですよ。

さて、キャンプ当日。いざ余島に到着すると、そんな私たちの心配は吹き飛びました。そこには、虫を追いかけて、カヌーに乗り、海に飛び込むといった全力で遊ぶ子どもたちの姿、いつもと変わらない余島がありました。

電気もないキャンピンでの生活でしたが、子どもたちの順応性の高さに関心し、たくましさを感じた3日間となりました。

解散時、大きな声でキャンプソングを歌いながら満面の笑顔で幼稚園に戻ってきた子どもたち。その姿を見た保護者の皆さまも、とても良い表情をされていました。キャンプは子どもも親もたくましく成長させてくれます。そんなキャンプを、これからも続けていきたいと思えます。



## たかとり児童館

## 盆踊り体験！

新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちの体験や経験が減ってきていることを、児童館で子どもたちと過ごす中で感じています。

昨年、地域の盆踊り大会が開催されることを子どもたちにアナウンスしたところ、「盆踊りって何?」という声が多数上がりました。そこで、地域の方に踊りを教えていただく機会を設けたところ、子どもたちにも、地域の方にも、とても喜ばれました。

今年は練習の機会を2日設けたのですが、昨年参加した子は1年前のことですがちゃんと覚えてお

り、お友達に教えたりもしていました。また、1回目に参加した子が、参加したことのない子に「おもしろいから行こうよ」と誘っている姿も見ることができました。

自分たちがやりたいことをみつけ、地域の方とつながる。そして、そのことによって自分たちも地域もよくなっていくということ、盆踊りの練習を通して、子どもたちが感じたように思います。



## あかしこども広場AKASHIユーススペース

## 高校生と一緒につくるライブ

「ライブがしたい!!!」という高校生たちの夢が叶った日。8月10日(木)、あかしこども広場AKASHIユーススペース(通称:ユースペ)で、約4年ぶりとなるライブイベント「ROCKIN' YOUTH FESTIVAL ～re:summer～」を開催しました。

今回のイベントを実施するにあたり、企画や広報、当日の運営まで、すべて高校生が主体となり、3ヶ月もの期間をかけて一からつくりあげました。イベント名の「re:summer」も、もちろん高校生の考案。「resume(再開)」「summer(夏)」という2つの単語を掛け合わせたもので、「ライブを再開し、みんなでこの夏を楽しもう!」というメッセージが込められています。メッセー

ジの通り、「自分たちが楽しむだけでなく、ライブを観に来てくれる人たちにも楽しんでもらえるように」と準備する姿が印象的でした。

当日は、100名以上の方が来てくれました。ライブは最後まで盛り上がり、終了後の、達成感に満ちたみんなの表情は今でも忘れられません。

これからも、中高生

の「やってみたい!」を全力でサポートできるユースペでありたいと思います。



## こくさいのまど

## ホストファミリーになって

今夏、神戸YMCAのホストファミリープログラムにご登録いただいた谷川ファミリーのコメントをご紹介します。

まず、素晴らしい機会を頂けたことに感謝いたします。

この度、JCCCNC(北カリフォルニア日本文化センター)のバスケットボール日米親善試合のプログラムの一環として、ホームステイプログラムのお話を頂き、13歳の男の子を受け入れることになりました。日本食に興味があり、何でも食べてみたいとのことでした。日本語は挨拶程度で、他はすべて英語でしたが、とても楽しい時間を過ごせました。

ホストファミリー：谷川 みな子 さん

ホストファミリーの良い点は、日本に居ながら異文化交流ができるという点です(少し、海外旅行に行った気分になります)。また、子どもたちが成長していくと、家族全員で何かをする機会が減ってきますが、家族全員で受け入れをすることで絆が深まり、これも良い点であると感じています。少しでも興味がある方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。

今度は、私たちが彼らの元へ行きたいと考えています。



JCCCNCの男子(中央)と谷川家姉弟(両端)



# YMCA STORY

## YMCAと私

公益財団法人 神戸YMCA評議員・学校法人 神戸YMCA学園理事・評議員 <sup>すずき みつこ</sup> 鈴木 光子さん

数え切れない出会いを感謝し、特に思い出深い2つの出会いを振り返りました。

「ハンドメイドクラブ」の思い出です。学校の第2土曜日が休みになった2003年、この土曜日にYMCAらしいこもたちのプログラムをと「ハンドメイドクラブ」が高倉台ランチにできました。小学生が小学生として自分の暮らしを考えてみる。それはいずれ暮らしを大事にする生き方につながると考えた、まさに国際、環境など時代を先取りした多様なプログラムでした。YMCAの豊富な人的資源に助けられ、インド人のメンバーには毎日食べているカレーを、タイや中国、韓国の留学生には簡単な会話や料理、遊び、ダンスなどを教えてもらい、またある時は手作りした石鹸をもって銭湯へ行ったり、ある時はインスタントカメラを一つずつもってタウンウォッチしたり。スタッフも私も、月1回のこのプログラムは準備が大変でしたが、新しい視点と願いが次々と生まれ、楽しいものでした。

「ファミリースキー」の思い出です。40数年前です。夫が学生時代よりお世話になった山口徹元総主事が、ファミリープロ

グラムをいろいろ思考されていました。野外活動や教育の現場にいた私たちも新しいプログラムに関わり、その一つがファミリースキーでした。スキーの特性、雪山という非日常の世界、挑戦、勇気等さまざまな要素があり、何よりもそれを家族で共有できるファミリースキーの魅力は無尽蔵です。その後の25年間の年末年始を、私たちはスキー場で過ごすことになりました。たくさんの家族と貴重な時間を雪山で過ごしました。アフタースキーの大人のミーティングは何よりも魅力的な時間でした。

私はクリスチャンホームに生まれ、母の胎よりクリスチャン生活をしてきましたが、YMCAとの出会いはずっと後です。夫は学生時代にYMCAと出会い、神様と出会いました。その夫と出会った私はYMCAと出会いました。神様の計画です。

小さな私にあたえられた地上の生活を豊かなものとしてくれているものの一つは、まちがいないYMCAとの出会いです。メンバーとして、リーダーとして、時には委員として、今もさまざまに楽しませていただいています。誠に感謝にたえません。

### 第25回 神戸YMCA国際ショナル・チャリティーラン2023

神戸YMCAに集まった支援金で「障がいのあるこもたちが、YMCAのキャンプに参加できるように！」との願いから始められました。今年で25回目になります。今年も実施します！

秋の1日、運動を楽しみながら、障がいのあるこもたちに思いを寄せてみませんか。皆さまのご支援をお願いいたします。

- ◆日 時：2023年11月23日(木・祝) 10:00~13:00
  - ◆会 場：しあわせの村  
(運動広場およびジョギングコース)
  - ◆種 目：1/10マラソン、1/100マラソン、  
グループウォーキングなど
- ※詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。

### 第24回 ワイワイまつり

西神戸YMCA学園都市(学園都市会館)

「ワイワイまつり」は、すべての人々が平和に暮らすことができる社会をつくり出す国際協力・地域奉仕活動を支えるバザーです。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

収益金はYMCA国際協力募金、災害被災地支援、地域のこもたちの水上安全活動、親子サポートに全額を捧げます。

- ◆日 時：2023年10月21日(土) 10:00~15:00
  - ◆会 場：西神戸YMCA学園都市
  - ◆入場料：1人300円
- 【ワイワイまつり恒例 お楽しみ抽選会】  
毎年恒例、お楽しみ抽選会を今年も行います！  
抽選券は1枚100円で先行販売予定！  
当日券もございます。

詳細はこちらから



### 西宮YMCAこどもカーニバル

西宮YMCA・西宮YMCA保育園

保育園児や卒園児が集う思い出の場として、また、西宮会館で行うプログラムに参加することもたちや、西宮YMCAが担う3つの育成センターを利用することもたちが集う交流の場として、「西宮YMCAこどもカーニバル」を、対象を限定し開催します。今年度はこれまでの「西宮カーニバル」とは異なり、YMCAに関わるこもたちが中心となります。西

- ◆日 時：2023年10月28日(土)
- ◆会 場：西宮会館・西宮YMCA保育園
- ◆対 象：保育園園児、卒園生、西宮YMCA現行メンバーの子もたち

### 神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要な活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

## 神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

## 神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。  
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435
YMCAおひさま	☎078(793)9077

西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
あかしこども広場	☎078(918)6355
学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045



## ワイズコーナー

### YMCAサービス・ユース事業って何？

六甲部Yサ・ユース事業主査

<sup>おの ともくに</sup> 小野 勲 さん(西宮ワイズメンズクラブ)

YMCAサービス・ユース事業は「YMCA」とその中心的な「ユース」をサポートするという、ワイズメンズクラブにとってYMCAと一番密接で重要な事業です。この「ユース」とは、35歳以下のボランティアやYMCAに奉職される職員などのレイパーソン、また会員も含み、かなり広範囲の若い方々を対象としています。

主な活動は、YYYフォーラムやチャリティーランなどですが、私は今期の主題に「Y(YMCA)Y(ワイズ)Y(ユース)が、W(ウィン)W(ウィン)W(ウィン)の関係で互いにサポートし合おう！」というテーマを掲げました。ワイズメンズクラブだけがサポート役になるのではなく、三者がサポートし合おうというものです。ですからYMCAやユースも、ワイズメンズクラブをサポートしてほしいのです。具体的には、新しいメンバーをワイズメンズクラブに送り込んでほしいのです。その方々でYMCAやユースやワイズメンズクラブを互いにサポートし合えば、相乗効果としてYMCA本来の三位一体(スピリット・マインド・ボディ)が達成できるのです。

私自身も余島キャンプリダーやユースリーダーOBですが、ボランティア活動は一時的な興味や情熱だけで行うのではなく、人間形成の生涯教育の一環として実施してほしいのです。YMCAも、ボランティアに参加されるユースたちの生涯を通じた「キャリア形成」や「リピーター」の育成の責任を担っていただきたいと願っております。

### 感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~8/18現在)

#### 寄附

山本 常雄、城 邦子、林 眞己子、松田 康之、  
日本ワンダーフォーゲル会関西支部、  
神戸YMCAベルクワイアー(阿部 望)、  
ワイズメンズクラブ六甲部、  
西宮ワイズメンズクラブ、  
神戸学園都市ワイズメンズクラブ

#### 国際協力募金

(トルコ・シリア大地震、ウクライナ支援、  
スピーチコンテストを含む)  
熊谷 郁子、フランス料理「Vérité」、  
社会福祉法人頌栄会認定こども園西鈴蘭台頌栄保  
育園、社会福祉法人頌栄会頌栄児童館

#### YMCA学生支援募金

杉原 賢治  
この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。  
感謝をもってご報告します。